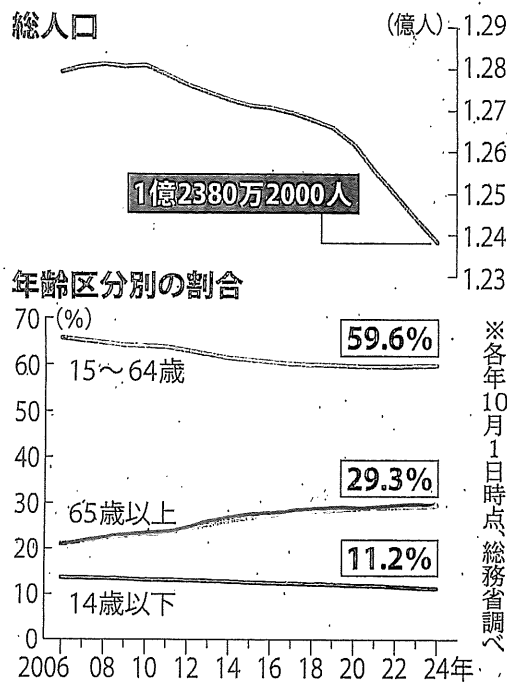


【参考資料】

毎日新聞 令和7年4月15日(火)



昨年推計 13年連続幅拡大

1億2029万人

日本人89万8000人減

総務省が14日公表した2024年10月1日時点の人口推計によると、日本人は前年同月比89万8000人減の1億2029万6000人で、比較可能な1950年以降、最大の落ち込みだった。外国人を含む総人口は55万人減の1億2380万2000人で、マイナスは14年連続。出生数が死亡数を下回る「自然減」が拡大しているためだ。都道

府県別で増加したのは東京都、埼玉のみで45道府県がマイナス。地域経済の衰退が懸念され、対策が急務だ。将来を担う0～14歳は34万3000人減の1383万人で、総人口に占める割合は11.2%と過去最低を更新。15～64歳は22万4000人減の7372万8000人だった。65歳以上は1万7000人増の3624万3000人で、割合は29.3%で過去最高となった。うち75歳以上は70万人増の2077万7000人だった。団塊の世代が加わってきたことが要因だ。

総人口は05年、戦後初めて前年を下回った後、08年をピークとし、11年以降は減少が続く。日本人の減少幅は今回、13年連続で拡大した。一方、外国人は350万6000人で過去最多。

都道府県別で減少率が最も高いのは秋田の1.87%。青森1.66%、岩手1.57%が続いた。減少率が前年と比べて拡大したのは34道府県。最も拡大したのは石川の0.22%で、減少率は1.00%だった。

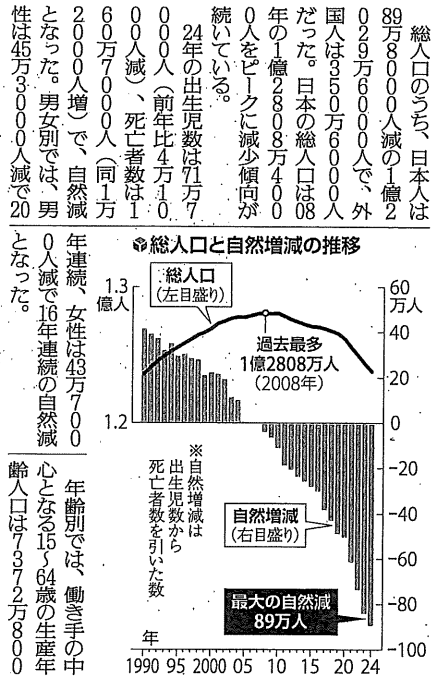
東京は0.66%増と3年連続で増え、プラス幅も拡大。埼玉は前年のマイナス0.08%からプラス0.01%に転じた。外国人流入が主要因。東京、埼玉、千葉、神奈川4都県で総人口の29.9%を占め、一極集中が続く。

人口「自然減」最大89万人

18年連続 15歳未満最低11%

総務省は14日、2024年10月1日時点の日本の総人口推計(外国人含む)を発表した。前年比55万人(0.44%)減の1億2380万2000人、14年連続で減少した。出生児数が死亡者数を下回る「自然減」は18年連続で、減少幅は過去最大の89万人だった。一方、外国人の入国者数は出国者数を34万2000人上回り、国内への転入超過数は3年連続の増加となった。

総人口1億2380万人 外国人転入超過



0人同22万4000人減で人口に占める割合は59.6%。15歳未満は1538万人(同34万3000人減)で、全体に占める割合は11.2%と過去最低を更新した。

65歳以上の高齢者は3624万3000人で、29.3%に上った。75歳以上は2077万7000人で16.8%だった。いずれの割合も過去最高を更新した。

都道府県別で見ると、増加したのは東京、埼玉の2都県のみだ。ともに自然減と、他の道府県からの転入者が転出者を上回る「社会増」だった。東京は5万2000人の自然減、14万4000人の社会増で、増加率は前年比0.66%だった。埼玉の人口は今回、減少から増加に転じた。

他の45道府県も全て自然

各都道府県の人口と増減率		
都道府県	人口(万人)	増減率(%)
北海道	504.3	-0.97
青森	116.5	-1.66
岩手	114.5	-1.57
宮城	224.8	-0.73
秋田	89.7	-1.87
山形	101.1	-1.49
福島	174.3	-1.35
茨城	280.6	-0.64
栃木	188.5	-0.66
群馬	189	-0.62
埼玉	733.2	0.01
千葉	625.1	-0.08
東京	1417.8	0.66
神奈川	922.5	-0.05
新潟	209.9	-1.29
富山	99.7	-1
石川	109.8	-1
福井	73.9	-0.77
山梨	79.1	-0.63
長野	198.7	-0.84
岐阜	191.6	-0.81
静岡	352.7	-0.8
愛知	746	-0.23
三重	171.1	-0.94
滋賀	140.2	-0.32
京都	252	-0.6
大阪	875.7	-0.07
兵庫	533.7	-0.61
奈良	128.5	-0.8
和歌山	88	-1.34
鳥取	53.1	-1.16
島根	64.2	-1.16
岡山	183.1	-0.84
広島	271.4	-0.86
山口	128.1	-1.26
徳島	68.5	-1.36
香川	91.7	-0.93
愛媛	127.6	-1.22
高知	65.6	-1.56
福岡	509.2	-0.21
佐賀	78.8	-0.82
長崎	125.2	-1.21
熊本	169.7	-0.69
大分	108.5	-1
宮崎	103.3	-0.89
鹿児島	153.2	-1.1
沖縄	146.6	-0.11

減だったが、そのうち千葉、神奈川、大阪など22道府県は社会増となった。福井、奈良、宮崎の3県は社会減から社会増に転換した。

人口減少率が1%以上上ったのは18県だ。減少率は高い順に秋田(1.87%)、青森(1.66%)、岩手(1.57%)となり、東北地方で顕著だった。

居住や留学などによる入国者数は前年比94万2000人増の419万3000人で、出国者数の385万3000人を上回った。

日本人 過去最大89万人減

総人口1億2380万人 14年連続減

一方、国内に3カ月以上滞在する外国人は34万人以上増えて350万6千人。3年連続で過去最多を更新しており、日本人の減少を補う形となっている。

総人口を年齢別にみると、15歳未満は34万3千人減の1389万人。全体に占める割合は11.2%で過去最低だった。15歳未満の「生産年齢人口」は22万4千人減の7372万8千人、59.6%。75歳以上の人口は70万人増の2077万7千人、割合は過去最高の16.8%だった。第1次ベビーブーム(1947～49年)に生まれた人がすべて75歳以上となったことが背景にある。

都道府県別にみると、人口が増加したのは2都府県で、東京が0.66%増の1417万8千人、埼玉が0.01%増の733万2千人。45道府県のうち減少率が最も大きかったのは秋田の1.87%だった。

東京一極集中の傾向が続いているが、出生数と死亡数の差である「自然増減」でみると全都道府県で減少している。

(古賀大巳)

総務省、昨年10月推計

総務省は14日、2024年10月1日時点の人口推計を発表した。外国人を含む総人口は前年から55万人(0.44%)減少し、1億2380万2千人となった。減少は14年連続。日本人は前年比89万8千人(0.74%)減の1億2029万6千人で、減少数と減少率のいずれも過去最大だった。13年連続で減少幅が拡大した。

▼3面Ⅱ止まらぬ少子化

都道府県別推計人口と増減率

2024年10月1日時点。人口は百万の位を四捨五入。増減率は前年比、小数点第3位を四捨五入。▼はマイナス

	人口 (万人)	増減率 (%)
全 国	12380.2	▼0.44
北海道	504.3	▼0.97
青森県	116.5	▼1.66
岩手県	114.5	▼1.57
宮城県	224.8	▼0.73
秋田県	89.7	▼1.87
山形県	101.1	▼1.49
福島県	174.3	▼1.35
茨城県	280.6	▼0.64
栃木県	188.5	▼0.66
群馬県	189.0	▼0.62
埼玉県	733.2	0.01
千葉県	625.1	▼0.08
東京都	1417.8	0.66
神奈川県	922.5	▼0.05
新潟県	209.9	▼1.29
富山県	99.7	▼1.00
石川県	109.8	▼1.00
福井県	73.9	▼0.77
山梨県	79.1	▼0.63
長野県	198.7	▼0.84
岐阜県	191.6	▼0.81
静岡県	352.7	▼0.80
愛知県	746.0	▼0.23
三重県	171.1	▼0.94
滋賀県	140.2	▼0.32
京都府	252.0	▼0.60
大阪府	875.7	▼0.07
兵庫県	533.7	▼0.61
奈良県	128.5	▼0.80
和歌山県	88.0	▼1.34
鳥取県	53.1	▼1.16
島根県	64.2	▼1.16
岡山県	183.1	▼0.84
広島県	271.4	▼0.86
山口県	128.1	▼1.26
徳島県	68.5	▼1.36
香川県	91.7	▼0.93
愛媛県	127.6	▼1.22
高知県	65.6	▼1.56
福岡県	509.2	▼0.21
佐賀県	78.8	▼0.82
長崎県	125.2	▼1.21
熊本県	169.7	▼0.69
大分県	108.5	▼1.00
宮崎県	103.3	▼0.89
鹿児島県	153.2	▼1.10
沖縄県	146.6	▼0.11

令和7年4月14日

人口推計

2024年(令和6年)10月1日現在

— ポイント —

【全国人口】

総人口は55万人の減少、14年連続の減少 日本人人口は減少幅が13年連続で拡大

- 総人口は1億2380万2千人で、前年に比べ55万人（-0.44％）の減少となり、14年連続で減少しています。
- 日本人人口は1億2029万6千人で、前年に比べ89万8千人（-0.74％）の減少となり、13年連続で減少幅が拡大しています。（結果の概要 1～2ページ）

18年連続の自然減少、減少幅は拡大

- 自然増減は89万人の減少で、18年連続の自然減少となり、減少幅は拡大しています。
- 男女別にみると、男性は45万3千人の減少、女性は43万7千人の減少となり、男性は20年連続、女性は16年連続の自然減少となっています。（結果の概要 2～3ページ）

日本人は2年ぶりの社会減少、外国人は3年連続の社会増加

- 社会増減は34万人の増加で、3年連続の増加となっています。
- 日本人・外国人の別にみると、日本人は2千人の減少で、2年ぶりの社会減少となっています。外国人は34万2千人の増加で、3年連続の社会増加となっています。（結果の概要 2～3ページ）

表1 男女別総人口の推移（2005年～2024年）

（単位 千人）

年次	総人口							男					女				
	10月1日 現在人口	純増減 ¹⁾		自然 ³⁾ 増減	社会 ³⁾ 増減	日本人		10月1日 現在人口	純増減 ¹⁾		自然 ³⁾ 増減	社会 ³⁾ 増減	10月1日 現在人口	純増減 ¹⁾		自然 ³⁾ 増減	社会 ³⁾ 増減
		増減数	増減率 ²⁾ (%)			日本人	外国人		増減数	増減率 ²⁾ (%)				増減数	増減率 ²⁾ (%)		
2005年	127,768 ⁴⁾	-19	-0.01	9	-53	-103	50	62,349 ⁴⁾	-31	-0.05	-25	-28	65,419 ⁴⁾	12	0.02	34	-25
2006	127,901	133	0.10	1	1	-60	61	62,387	38	0.06	-26	7	65,514	95	0.14	27	-6
2007	128,033	132	0.10	-2	4	-75	79	62,424	37	0.06	-25	6	65,608	95	0.14	23	-2
2008	128,084	51	0.04	-35	-45	-110	65	62,422	-2	-0.00	-41	-18	65,662	53	0.08	6	-27
2009	128,032	-52	-0.04	-59	-124	-77	-47	62,358	-64	-0.10	-55	-67	65,674	12	0.02	-5	-57
2010	128,057 ⁴⁾	26	0.02	-105	0	4	-4	62,328 ⁴⁾	-30	-0.05	-74	-13	65,730 ⁴⁾	56	0.09	-31	13
2011	127,834	-223	-0.17	-183	-79	-28	-51	62,207	-120	-0.19	-108	-37	65,627	-103	-0.16	-75	-42
2012	127,593	-242	-0.19	-201	-79	-23	-56	62,080	-128	-0.21	-116	-37	65,513	-114	-0.17	-85	-42
2013	127,414	-179	-0.14	-232	14	-23	37	61,985	-95	-0.15	-129	9	65,429	-84	-0.13	-103	5
2014	127,237	-177	-0.14	-252	36	-23	60	61,901	-84	-0.14	-136	27	65,336	-93	-0.14	-115	9
2015	127,095 ⁴⁾	-142	-0.11	-275	94	-1	95	61,842 ⁴⁾	-59	-0.10	-147	63	65,253 ⁴⁾	-83	-0.13	-128	31
2016	127,042	-53	-0.04	-296	134	-2	136	61,816	-26	-0.04	-156	79	65,226	-27	-0.04	-140	54
2017	126,919	-123	-0.10	-377	151	4	147	61,753	-63	-0.10	-197	87	65,165	-61	-0.09	-180	64
2018	126,749	-170	-0.13	-425	161	-3	165	61,673	-81	-0.13	-220	97	65,076	-89	-0.14	-205	65
2019	126,555	-193	-0.15	-485	209	1	208	61,588	-85	-0.14	-249	127	64,967	-109	-0.17	-237	82
2020	126,146 ⁴⁾	-409	-0.32	-501	42	21	21	61,350 ⁴⁾	-238	-0.39	-259	2	64,797 ⁴⁾	-171	-0.26	-242	40
2021	125,502	-644	-0.51	-609	-35	-7	-28	61,019	-331	-0.54	-314	-16	64,483	-313	-0.48	-294	-19
2022	124,947	-556	-0.44	-731	175	-16	191	60,758	-261	-0.43	-371	110	64,189	-294	-0.46	-359	65
2023	124,352	-595	-0.48	-837	242	2	240	60,492	-265	-0.44	-423	158	63,859	-330	-0.51	-414	84
2024	123,802	-550	-0.44	-890	340	-2	342	60,233	-260	-0.43	-453	193	63,569	-290	-0.45	-437	147

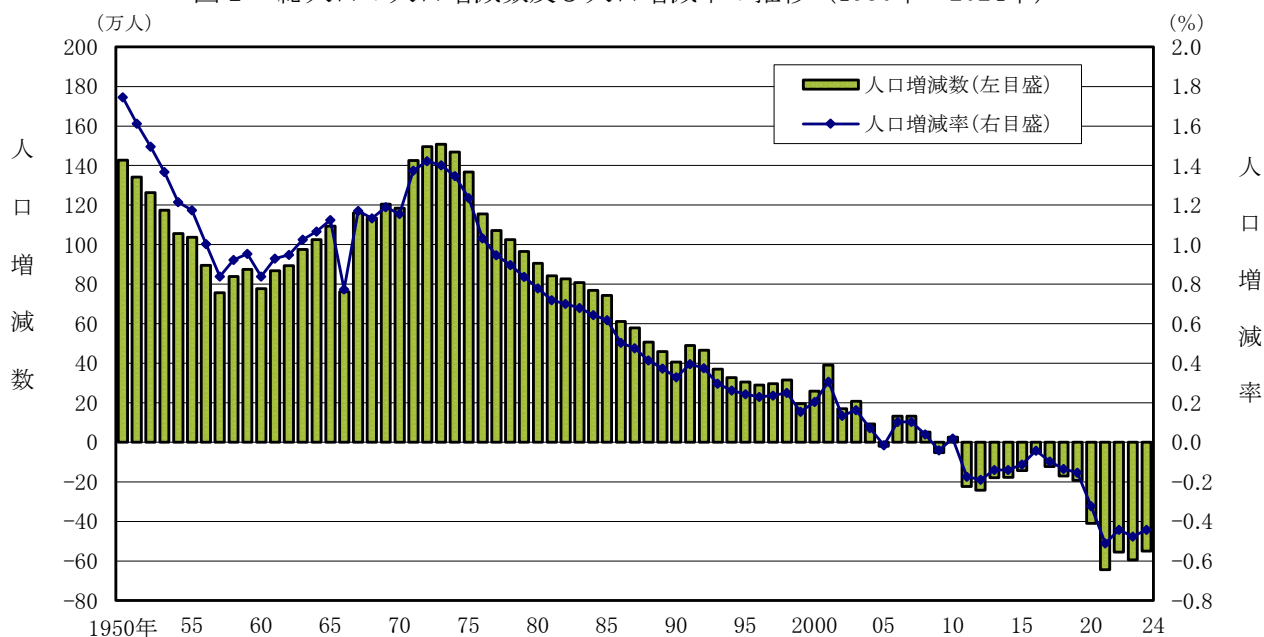
注1) 前年10月から当年9月までの増減数。2020年までの増減数には補間補正数（国勢調査人口を基に算出した人口推計と、その次の国勢調査人口との差を各年に配分して算出したもの）を含む。このため、純増減は自然増減と社会増減の計とは一致しない。

2) 前年10月から当年9月までの増減数を前年人口（期間初めの人口＝期首人口）で除したもの

3) 前年10月から当年9月までの増減数

4) 国勢調査人口

図1 総人口の人口増減数及び人口増減率の推移（1950年～2024年）



注) 人口増減率は、前年10月から当年9月までの人口増減数を前年人口（期首人口）で除したものの

15歳未満人口は前年に比べ34万3千人の減少

総人口に占める割合は11.2%で過去最低

65歳以上人口は前年に比べ1万7千人の増加となり、割合は29.3%と過去最高

- 15歳未満人口は1383万人で、前年に比べ34万3千人の減少となり、割合は0.2ポイント低下の11.2%で過去最低となっています。
- 15～64歳人口は7372万8千人で、前年に比べ22万4千人の減少となり、割合は59.6%で前年に比べ0.1ポイントの上昇となっています。
- 65歳以上人口は3624万3千人で、前年に比べ1万7千人の増加となり、割合は0.2ポイント上昇の29.3%で過去最高となっています。

うち75歳以上人口は2077万7千人で、前年に比べ70万人の増加となり、割合は0.7ポイント上昇の16.8%で過去最高となっています。

（結果の概要 4～5 ページ）

図2 我が国の人口ピラミッド (2024年10月1日現在)

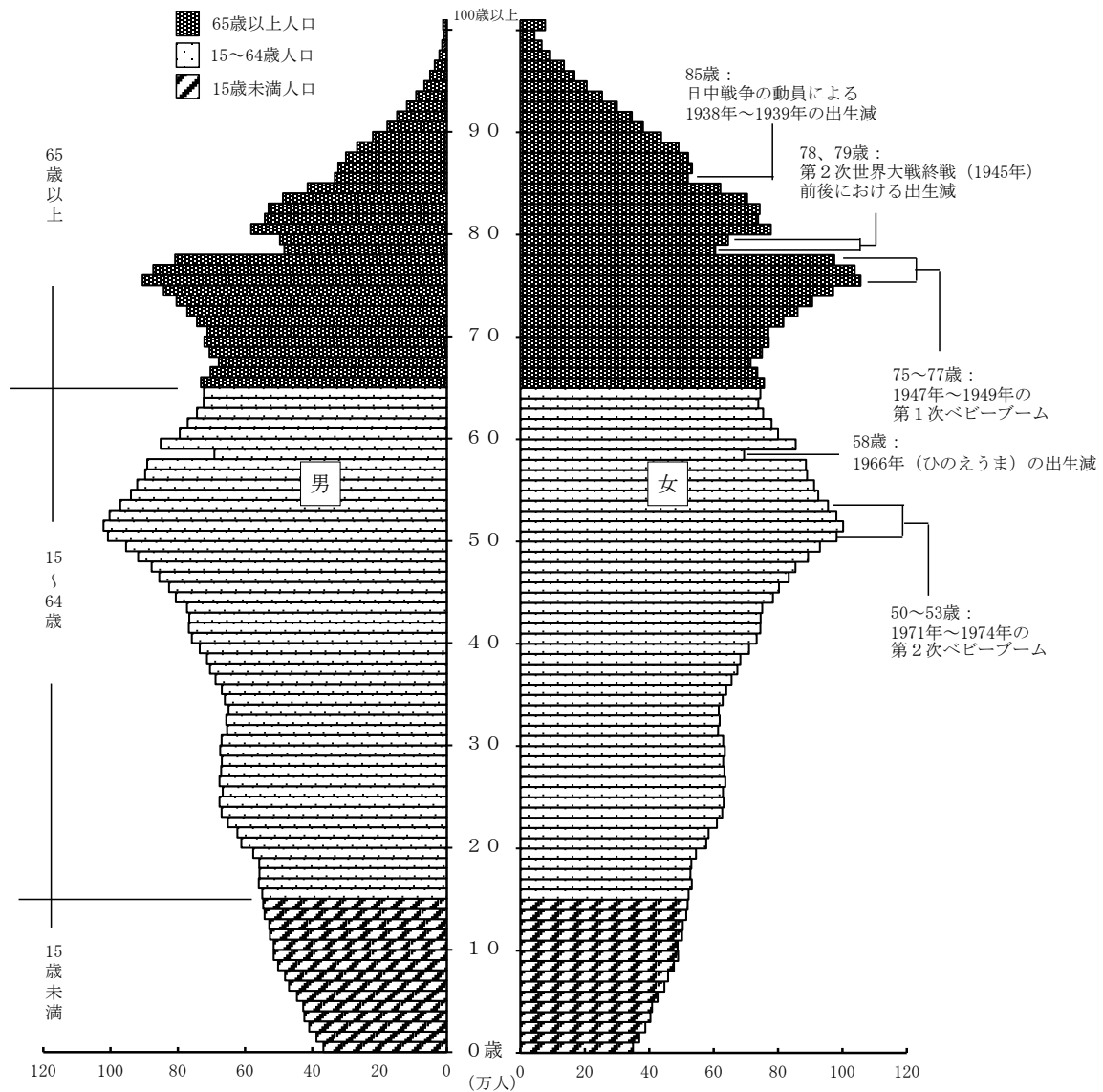
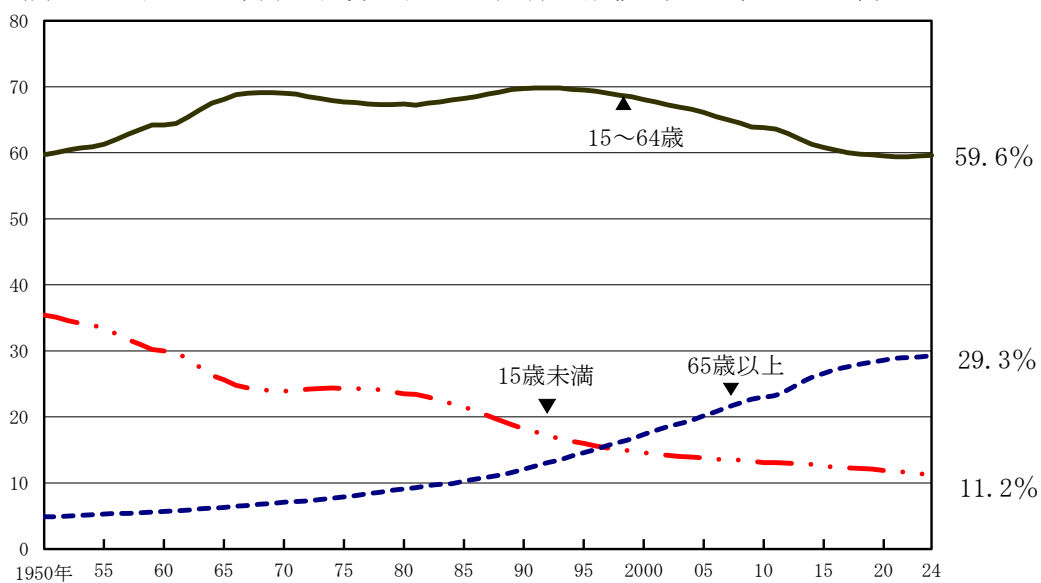


図3 年齢3区分別人口の割合の推移 (1950年～2024年)



【都道府県別人口】

人口増加は東京都と埼玉県の2都県

- 人口増加は2都県となっています。
- 東京都の人口増加率は0.66%と最も高く、前年に比べ0.32ポイント拡大しています。埼玉県は0.01%と人口減少から人口増加に転じています。
- 人口減少は45道府県となっています。
- 人口減少率が1%以上となったのは、秋田県（-1.87%）、青森県（-1.66%）、岩手県（-1.57%）など18県で、前年から3県増加しています。

図4 都道府県別人口増減率

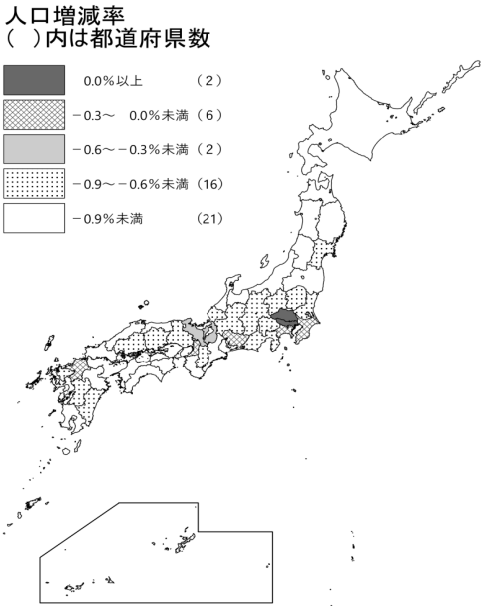


表2 都道府県別人口増減率

(単位 %)

人口増減率 順位	都道府県	人口増減率		人口増減率 順位	都道府県	人口増減率		人口増減率 順位	都道府県	人口増減率	
		2024年	2023年			2024年	2023年			2024年	2023年
—	全 国	-0.44	-0.48	16	熊 本 県	-0.69	-0.55	30	大 分 県	-1.00	-0.95
1	東 京 都	0.66	0.34	17	宮 城 県	-0.73	-0.68	33	鹿 児 島 県	-1.10	-0.89
2	埼 玉 県	0.01	-0.08	18	福 井 県	-0.77	-1.12	34	鳥 取 県	-1.16	-1.14
3	神 奈 川 県	-0.05	-0.04	19	静 岡 県	-0.80	-0.75	34	島 根 県	-1.16	-1.27
4	大 阪 府	-0.07	-0.22	19	奈 良 県	-0.80	-0.79	36	長 崎 県	-1.21	-1.25
5	千 葉 県	-0.08	-0.15	21	岐 阜 県	-0.81	-0.75	37	愛 媛 県	-1.22	-1.16
6	沖 縄 県	-0.11	-0.02	22	佐 賀 県	-0.82	-0.74	38	山 口 県	-1.26	-1.21
7	福 岡 県	-0.21	-0.26	23	長 野 県	-0.84	-0.80	39	新 潟 県	-1.29	-1.22
8	愛 知 県	-0.23	-0.25	23	岡 山 県	-0.84	-0.84	40	和 歌 山 県	-1.34	-1.27
9	滋 賀 県	-0.32	-0.16	25	広 島 県	-0.86	-0.78	41	福 島 県	-1.35	-1.31
10	京 都 府	-0.60	-0.57	26	宮 崎 県	-0.89	-0.96	42	徳 島 県	-1.36	-1.27
11	兵 庫 県	-0.61	-0.60	27	香 川 県	-0.93	-0.91	43	山 形 県	-1.49	-1.42
12	群 馬 県	-0.62	-0.60	28	三 重 県	-0.94	-0.88	44	高 知 県	-1.56	-1.37
13	山 梨 県	-0.63	-0.75	29	北 海 道	-0.97	-0.93	45	岩 手 県	-1.57	-1.47
14	茨 城 県	-0.64	-0.53	30	富 山 県	-1.00	-0.96	46	青 森 県	-1.66	-1.66
15	栃 木 県	-0.66	-0.60	30	石 川 県	-1.00	-0.78	47	秋 田 県	-1.87	-1.75

注) 人口増減率 (%) = $\frac{\text{人口増減 (前年10月～当年9月)}}{\text{前年10月1日現在人口}} \times 100$
人口増減 = 自然増減 + 社会増減

15歳未満人口の割合が75歳以上人口の割合を上回るのは沖縄県のみ

- 15歳未満人口の割合が最も高いのは、沖縄県（15.8%）となっています。
- 15～64歳人口の割合が最も高いのは、東京都（66.8%）となっています。
- 65歳以上人口及び75歳以上人口の割合が最も高いのは、いずれも秋田県（39.5%、22.0%）となっています。
- 15歳未満人口の割合が75歳以上人口の割合を上回っているのは沖縄県のみとなっています。
（結果の概要 12～13ページ）

表4 都道府県、年齢3区分別人口の割合（各年10月1日現在）

（単位 %）

都道府県	2024年				2023年			
	15歳未満	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上
全 国	11.2	59.6	29.3	16.8	11.4	59.5	29.1	16.1
北海道	9.9	56.9	33.3	18.7	10.1	56.9	33.0	18.0
青森県	9.8	54.5	35.7	19.5	10.0	54.8	35.2	18.7
岩手県	10.1	54.5	35.4	19.7	10.3	54.7	35.0	19.0
宮城県	10.8	59.6	29.6	15.9	11.1	59.7	29.2	15.2
秋田県	8.8	51.6	39.5	22.0	9.1	51.9	39.0	21.2
山形県	10.4	54.0	35.6	19.6	10.7	54.2	35.2	18.9
福島県	10.5	55.8	33.7	17.9	10.8	56.0	33.2	17.2
茨城県	10.8	58.3	30.9	17.0	11.1	58.3	30.6	16.3
栃木県	10.8	58.7	30.5	16.4	11.1	58.7	30.2	15.6
群馬県	10.8	58.1	31.1	17.6	11.0	58.0	30.9	16.9
埼玉県	11.1	61.4	27.5	15.9	11.3	61.2	27.4	15.2
千葉県	11.0	60.9	28.1	16.3	11.2	60.7	28.1	15.7
東京都	10.5	66.8	22.7	13.2	10.7	66.5	22.8	12.9
神奈川県	10.9	63.1	26.0	15.3	11.2	62.9	25.9	14.7
新潟県	10.5	55.4	34.2	19.2	10.7	55.4	33.8	18.4
富山県	10.5	56.2	33.2	19.7	10.8	56.2	33.1	19.0
石川県	11.3	58.0	30.7	17.9	11.6	57.9	30.5	17.1
福井県	11.7	56.5	31.8	18.0	12.0	56.5	31.5	17.3
山梨県	10.8	57.2	32.0	18.0	10.9	57.3	31.7	17.4
長野県	11.2	55.9	32.9	19.4	11.4	55.9	32.7	18.7
岐阜県	11.4	57.2	31.4	18.1	11.6	57.2	31.2	17.4
静岡県	11.1	57.7	31.2	17.8	11.4	57.6	31.0	17.1
愛知県	12.2	62.0	25.8	15.0	12.4	61.9	25.7	14.4
三重県	11.2	57.9	30.9	17.8	11.5	57.9	30.6	17.1
滋賀県	12.7	60.0	27.3	15.3	13.0	60.0	27.0	14.6
京都府	10.6	59.6	29.8	18.0	10.8	59.4	29.7	17.2
大阪府	11.1	61.3	27.6	16.7	11.2	61.1	27.7	16.1
兵庫県	11.5	58.3	30.2	17.6	11.7	58.3	30.0	16.9
奈良県	11.0	56.1	32.9	19.4	11.2	56.2	32.6	18.5
和歌山県	10.9	54.6	34.5	20.1	11.1	54.7	34.2	19.3
鳥取県	11.8	54.5	33.7	18.9	12.0	54.7	33.3	18.1
島根県	11.7	53.1	35.2	20.4	11.8	53.2	35.0	19.7
岡山県	11.7	57.1	31.2	18.4	11.9	57.1	31.0	17.7
広島県	11.8	57.8	30.4	17.8	12.1	57.8	30.1	17.0
山口県	10.8	53.7	35.5	20.9	11.0	53.7	35.3	20.0
徳島県	10.4	53.9	35.7	20.2	10.6	54.1	35.3	19.3
香川県	11.4	55.8	32.8	19.1	11.6	55.9	32.6	18.2
愛媛県	10.8	54.7	34.5	19.7	11.1	54.8	34.2	18.9
高知県	10.3	53.1	36.6	21.6	10.5	53.2	36.3	20.7
福岡県	12.4	59.0	28.6	15.9	12.6	58.9	28.5	15.2
佐賀県	12.7	55.3	32.0	17.3	12.9	55.4	31.7	16.6
長崎県	11.9	53.4	34.7	19.0	12.1	53.6	34.3	18.2
熊本県	12.6	54.8	32.6	18.0	12.8	54.9	32.3	17.4
大分県	11.4	54.2	34.4	19.6	11.6	54.2	34.2	18.8
宮崎県	12.5	53.5	33.9	18.7	12.7	53.6	33.7	18.0
鹿児島県	12.5	53.3	34.2	18.4	12.7	53.5	33.8	17.8
沖縄県	15.8	60.0	24.2	11.7	16.1	60.1	23.8	11.3